



3年ぶりの同窓会総会 盛大に開催



大分県立竹田高等学校
関東同窓会
報
令和4年・秋・臨時号
(第62号)

発行者・会長 都 俊生
編集者・委員長 衛藤 淳
発行所・関東同窓会事務局
〒194-0013
東京都町田市原町田4-17-20
電話 090-2646-4808

<http://kantoutaketa.org/>

来賓・竹田市・土居市長



同窓会・服部会長



最高齢参加者の
阿南英隆さん(昭22年卒)



企画副委員長 岩男 暁子(昭62年卒)
令和4年7月2日、東京ガー
デンパレスに於いて関東同窓会
第36回総会が開催されました。
時勢に鑑みて制限はありましたが、「生涯竹高生」の皆さまが
再会の喜びで沸いた日となりました。
はじめに関東同窓会菅博敏会
長よりご挨拶がありました。1
40名という予想以上の参加者
に「熱い心」を感じたと御礼を
述べられました。
続いて竹田市からご出席くだ
さった竹田高校の上村先生、土

居竹田市長、服部同窓会会長、
堀副会長より来賓祝辞を賜りま
した。
上村先生より「関東同窓会の
支援が、物心共に励みになって
いる」ことを、土居市長からは
市の人口の推移と現状のお話、
服部同窓会会長からは「財産で
ある竹田高校を輝かせ続けたい」
とお話いただきました。母校
の発展は将来へ繋がっています。
住む場所は違っても、気持
ちを共にして応援したいと改め
て思いました。
つづいて都俊生新会長を筆頭
に、新体制の役員紹介が行われ
ました。
安全を重視して懇親会は中止
となりましたが、日本舞踊家の
花柳美匠治郎さんがスペシャル
ゲストとして華を添えてくださ
いました。
花柳さんは竹田市内のご出身
で、小さい頃から芸事が身近に
あったそうです。お話を伺って
いると情緒豊かな故郷の景色が



最年少参加者の平成16年卒の3名

蘇ってきました。
鈴の音が美しい「松の三番叟」
や「荒城の月」などをお披露目
いただき、会場は舞の美しさに
魅了されました。
今回の最高齢参加者は、昭和
22年卒の阿南英隆さん。インタ
ビューでは、「old soldiers never
die」と英語を交えて話され、
はつらつとしたお姿が印象的で
した。平成16年卒業の阿南翔さ
ん、菅英雄さん、後藤優静さん
は堂々とした挨拶。将来有望で
す。
総会は議論の末の開催でし
た。厳しい状況下でも課題に向
き合い、現状に留まらなかつた
竹高生の心意気を感じてくださ
い。思いを受け継ぎ、新たな時
代も関東同窓会を継続できるよ
うご協力いただければ幸いです。
皆さまの笑顔が、今回の答え
であれば嬉しい限りです。

新役員体制の紹介

幹事長 後藤修(昭50年卒)
現役員は平成29年(2017年)7月の総会で承認され、その後、毎年役員会等の各種会議及び総会・懇親会を学年幹事や当番幹事の協力のもと実施してまいりましたが、今回5年ぶり

に役員改選が行われ7月の総会にて新役員全員が承認されましたので、ここで紹介させていただきます。
しかしながら紙面の都合上、新規及び役職変更の役員のみを紹介させていただきますことをご容赦願います。

幹事長には私、後藤修(前企画委員長・昭和50年卒)が就任し、企画委員長に後藤章仁氏(前総務副委員長・昭和52年卒)、組織委員長に飯田良典氏(新任・昭和51年卒)が就任しております。
また、総務副委員長に牧野浩志氏(新任・昭和60年卒)、企画副委員長に佐保哲郎氏(新任・昭和54年卒)、そして広報副委員長に鈴木智子氏(新任・平成2年卒)が就任しております。
最後に、監事には高橋公敏氏(新任・昭和44年卒)が就任しております。

新役員紹介

| | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 会 長 | ★都 俊生 | 昭和44年卒 | |
| 副会長 | 総務担当 | ★辻 正太郎 | 昭和49年卒 |
| | 企画担当 | 栗田 信子 | 昭和41年卒 |
| | 組織担当 | ★高橋 敏政 | 昭和46年卒 |
| | 広報担当 | ★川口 弘展 | 昭和45年卒 |
| 幹 事 長 | ★後藤 修 | 昭和50年卒 | |
| 副 幹 事 長 | 上野 聖展 | 昭和50年卒 | |
| 事 務 局 長 | 山部 光男 | 昭和53年卒 | |
| | 金子 知美 | 昭和53年卒 | |
| 副事務局長 | 土元登志子 | 昭和53年卒 | |
| | 内藤 賢一 | 昭和52年卒 | |
| 総務委員長 | ★牧野 浩志 | 昭和60年卒 | |
| 総務副委員長 | 志賀 昭靖 | 平成10年卒 | |
| | ★後藤 章仁 | 昭和52年卒 | |
| 企画委員長 | 保坂 斎子 | 昭和46年卒 | |
| | 鈴木 敬子 | 昭和51年卒 | |
| | ★佐保 哲郎 | 昭和54年卒 | |
| | 竹下 賢仁 | 昭和62年卒 | |
| | 岩男 暁子 | 昭和62年卒 | |
| 組織委員長 | ★飯田 良典 | 昭和51年卒 | |
| | 清水 洋一 | 昭和52年卒 | |
| 組織副委員長 | 濱口 鈴子 | 昭和26年卒 | |
| | 佐藤 孝一 | 昭和57年卒 | |
| | 川島 秀夫 | 昭和60年卒 | |
| 広報委員長 | 衛藤 淳 | 昭和52年卒 | |
| 広報副委員長 | ★鈴木 智子 | 平成2年卒 | |
| | 後藤 猛士 | 昭和41年卒 | |
| 監 事 | ★高橋 公敏 | 昭和44年卒 | |

| | | |
|-------|-------|--------|
| 相 談 役 | 長吉 泉 | 昭和26年卒 |
| | 佐藤 映之 | 昭和28年卒 |
| | 用正 靖彦 | 昭和30年卒 |
| | 松良 修二 | 昭和34年卒 |
| | 菅 博敏 | 昭和40年卒 |
| 顧 問 | 坂本 勇 | 昭和28年卒 |
| | 西 誠 | 昭和30年卒 |
| | 加藤 興史 | 昭和33年卒 |
| | 麻生 三郎 | 昭和35年卒 |
| | 井手 得郎 | 昭和41年卒 |
| | 田部 修士 | 昭和42年卒 |

新会長には都俊生氏(前幹事長・昭和44年卒)が就任し、副会長には総務担当に辻正太郎氏(新任・昭和49年卒)、組織担当に高橋敏政氏(前組織委員長・昭和46年卒)、そして広報担当に川口弘展氏(前広報副委員長・昭和45年卒)が就任しております。

その他の役員は再任となりますが、都新会長のもと役員一同一致団結して関東同窓会がより一層維持・発展できるように尽力させていただきますので、今後とも皆さま方のご指導、ご協力をお願いいたします。

★新任

総会に華を添えた 花柳美匠治郎さんの演舞



花柳美匠治郎さんの演舞

7月2日に開催された同窓会総会に華を添えたのが花柳流師範、花柳美匠治郎さんの演舞でした。
日本舞踊の一流の演舞を目の前で観る機会は、そうそうあるものではありません。場内は花柳美匠治郎さんの演舞のひとつひとつの立ち振る舞いを固唾をのんで見守り、終わった際には感動の拍手に包まれました。
演目は「松の三番叟」でした。日本の伝統芸能ではこの「松の三番叟」は五穀豊稔を寿ぐとされ、祝言の舞として今日に伝えられているそうです。
花柳美匠治郎さんは今回の舞台では、自らの来し方を語ってくださいました。竹田で生まれ育ち、幼い時から自然に芸事に親しみ、その道を志すようになったことなどを紹介いただきました。芸術緑丘高校から猛勉強の末、東京藝術大学に進学。



参加者に語りかける
花柳美匠治郎さん

芸術緑丘高校で校長を務められた近藤宣彦先生(竹田高校・昭和52年卒)は「東京藝術大学は日本の芸術系大学の最高峰。現役で合格する生徒はなかなかいません。花柳美匠治郎さんは素晴らしい実績を残しました」と語っています。
その後、大学1年で全国舞踊コンクールの全国2位となり、大学2年では、国立大劇場での推薦名流舞踊大会で長唄、歌舞伎の名曲「助六」を踊り、また花柳流師範試験合格など、次々と飛躍を遂げています。
花柳さんは現在、日本舞踊家集団の芸○座(げいまるざ)に所属して活動されております。
本年9月にはNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」にも舞踏家として出演されるなど、さまざまな分野で活躍されています。竹田が生んだ若い才能の活躍を見守りたいと思います。

新会長あいさつ



会長
都 俊生
(昭44年卒)

す。関東に身を置く私たちに
とっては、竹田市、豊後大野市
が共通の「ふるさと」であり、
そこに郷愁とともに同郷人とし
て安心感と共感を持てるから
だと思います。

本年7月の総会において、菅
博敏会長の後任として会長を拝
命いたしました昭和44年卒の都
俊生です。役員一同、力を合わ
せて竹田高校関東同窓会の維
持・発展に取り組んで参ります
ので会員の皆さまのご協力をよ
ろしくお願いいたします。

竹田高校関東同窓会総会・懇
親会は、コロナ禍以前には毎年
200名を超える会員のご参加
をいただいております、その規模は
大分県下の高校の関東地区同窓
会としては最大です。全国でも
有数の高校同窓会となっております。
コロナ禍のため第34回、35回、
と連続して開催中止を余儀なく
された関東同窓会ですが、今年
は3年ぶりに開催することがで
きました。飲食を伴わない形式
での総会ではありましたが、形
式でも140名を超える方々の
ご参加をいただきました。
その求心力となつていられるのは、
私は「郷土愛」だと感じていま

現在の関東同窓会の会員状況
を概説しますと、登録会員数は
約1,500名です。その年齢
構成は、40代以下が20名、50代
が170名、60代が340名、
70代が570名、80代以上が4
00名となっております。一方、母
校ではこの9年定員割れが続い
ており、しかも、ここ数年は関
東方面に進学する学生はほぼゼ
ロの状態とのことです。長期的
に見れば会員数の減少は避けら
れませんが、平成以降の卒業生
は関東方面へ進学や就職してい
ても、まだ「竹田高校関東同窓
会」の存在を知らない人も多い
ことが推測されますので、これ
らの関東在住の卒業生への呼び
かけに力を入れていきたいと思
っています。

また、次のような実態にも
注目していかねばと考えていま
す。今年には総会開催案内を
1,487名に発送しました。
出欠回答があったのは414名
(出席回答144名、欠席回答
270名)でした。宛先住所不

明で事務局に返送された案内は
33通ありました。結果から見ると
約1,000名の会員は、「サイ
レントマジョリティ(無言の
大多数)」となっております。こ
れらの会員への同級生等からの
同窓会参加呼びかけが大切だと
感じています。

退任あいさつ



前会長
菅 博敏
(昭40年卒)

同窓会運営を振り返って

明で事務局に返送された案内は
33通ありました。結果から見ると
約1,000名の会員は、「サイ
レントマジョリティ(無言の
大多数)」となっております。こ
れらの会員への同級生等からの
同窓会参加呼びかけが大切だと
感じています。

とができました。
良き思い出の一つに、平成29
年11月11日の「竹田高等学校創
立120周年記念行事」への出
席があります。

平成29年7月の総会において、
松良修二会長の後任として第8
代会長を拝命してから5年間、
関東同窓会の運営に携わってま
いりました。

この間、歴代会長・役員・学
年幹事そして会員の皆さまの方
の熱い思いを肌で感じる事が
でき、全国に誇れる素晴らしい
同窓会であることを実感するこ

とができました。
良き思い出の一つに、平成29
年11月11日の「竹田高等学校創
立120周年記念行事」への出
席があります。

住所変更のほか、電話番号や
メールアドレスの変更などが増
えており同窓会名簿の整備にも
注力する必要があります。情報
発信向上のため、ホームページ
の活用も高めていきたいと思
っています。

課題は多いですが、学年幹事
さん、当番幹事さん、そして会
員の皆さまのご協力をいただき
ながら、役員一丸となって同窓
会運営に取り組んで参りますの
でよろしくお願いたします。

し、学校長から感謝状を頂戴い
たしました。

一連の行事を通じ、関東同窓
会創設の原点に立ち返り、母校
の一層の充実・発展に寄与して
いくことの役割の重さを痛感し
た次第であります。

第32回(平成30年)・第33回
(令和元年)の関東同窓会総
会・懇親会は、約250人もの
ご出席をいただきましたが、令和
2年1月以降新型コロナウイルス
による感染が拡大、政府とし
ても施設の休業、イベントの自
粛、外出の自粛等の対策を講じ
ることになり、第34回・第35回
関東同窓会総会・懇親会は中止
を余儀なくされました。

第36回(令和4年)関東同窓
会総会・懇親会開催の可否につ
いては、春の役員会において検
討しましたが、結論が出ず会長

一任ということになりました。私としては、ウイズコロナが継続する中であって、何かしら一步を踏み出すことの意義及び会員の皆さま方の安全という観点から総会のみを行うこととし、当日には竹田市からの来賓を含めて約140人の方々が出席され、成功裡に終了すること

ができ大変嬉しく思った次第であります。関東同窓会としては、①会員の高齢化に伴う同窓会の運営要領、②維持会費の安定的な確保の方策、③ウイズコロナ禍における総会・懇親会の在り方、④竹田高等学校の定員割れという厳しい状況下における支援の在

り方等の課題がありますが、都新会長を中心とした新役員体制の下、会員の皆さま方には一層のご支援・ご協力を賜り困難を乗り越っていただける事をご祈念申し上げます。最後になりますが、会員皆さま方のご厚情に心から感謝申し上げます。

母校の話題

コロナ禍を越えてストーム復活 部活、地域行事、進学などで活躍



竹田高校 合澤 哲郎 校長

令和4年4月に竹田高校に校長として着任いたしました合澤と申します。関東同窓会の皆さまには図書寄贈(大志文庫)をはじめとする厚いご支援を平素よりいただき心より感謝申し上げます。

私は竹田高校を昭和57年3月に卒業した第34期生であり、平成18年4月より令和2年3月までの14年間で化学教師として竹田高校に勤務いたしました。その後2年間、他校での教頭勤務を経て3年ぶりに竹田高校へ校長として帰って参りました。人

生の約3割を竹田高校で過ごした竹田高校を愛する者として母校へ力を尽くす所存です。さて今回、「臥牛」への原稿執筆の機会をいただきましたので、竹田高校の近況をお伝えします。

コロナ禍からの高校生活回復

令和2年から続くコロナ禍は高校生活に暗い影を落とし、本校でも学校行事の中止や縮小はもとより、飛沫感染を防ぐため校歌が歌えない、密接を防ぐためストームは肩が組めない(手をつないで実施)など伝統継承が危ぶまれる2年間となりました。しかし、令和4年度は活動制限解除の方向へ舵が切られ、4月には遠足にて岡城址で肩を

組んでのストームが実施できました。また、6月には3年ぶりに大分県高等学校総合体育大会の総合開会式が開催されました。大分市営陸上競技場に県下高校生が集合し、竹田高校からは、別府湾からの海風に翻る校旗を手



伝統のストーム健在!!



9月の体育大会



6月に行われた大分県高校総体

にした生徒会長が、またソフトテニス部選手が堂々たる行進を行いました。さらに、9月8日には「グランドツタけた」において文化祭(臥牛祭)が、22日には体育大会が実施され、懸案であった長野・東京方面への修学旅行も完全実施の方向で動いており、竹

〈74期生進学実績(令和4年3月卒業生:延べ数)〉

| | | |
|--------------|------------------------|-------|
| 国公立大学 | 京都大学・九州大学・横浜市立大学など | 53名合格 |
| 私立大学 | 東京理科大学・明治大学・立命館大学など | 97名合格 |
| 短期大学・専門学校 | 大分県立芸術文化短期大学・医療系専門学校など | 72名合格 |
| 一般企業・公務員など就職 | 大分県警察・竹田市役所・竹田市消防など | 14名合格 |

高生にとって満足できる高校生活が戻って来たと感じています。既に「存じ」の通り、令和3年度卒業生(第74期生)は京都大学現役合格を果たすなど素晴らしい進学実績を残しました。現3年生(第75期生)も74期生に続けと、夏季休業中の学習合宿、放課後19時までの自主学習や土曜・日曜日の自主的登校など、意欲的に学習に励んでいます。部活動でも県総体で上位入賞した陸上部が北九州大会へ、山

活躍する竹高生



岡城さくら祭りの大名行列



岳部が九州大会や栃木国体の九州ブロック予選に出場するなど活躍し、またサッカー部員・山岳部員が「岡城さくら祭り」の大名行列に参加、器学部が緑ヶ丘中学校への訪問演奏会を実施するなど地域への貢献も果たしています。

さらに、昨年「小説すばる」に連載された赤神諒氏の時代小説「はぐれ鴉」の題字を竹高の書道・吟詠部員が揮毫し、今年9月4日に赤神諒氏が来竹して

竹田高校の未来のために

「はぐれ鴉」出版記念イベントで著者・赤神諒氏と記念写真



開催された「はぐれ鴉」出版記念イベントでは部員が花束贈呈を行うなど、竹田市への貢献は特筆すべきものでした。

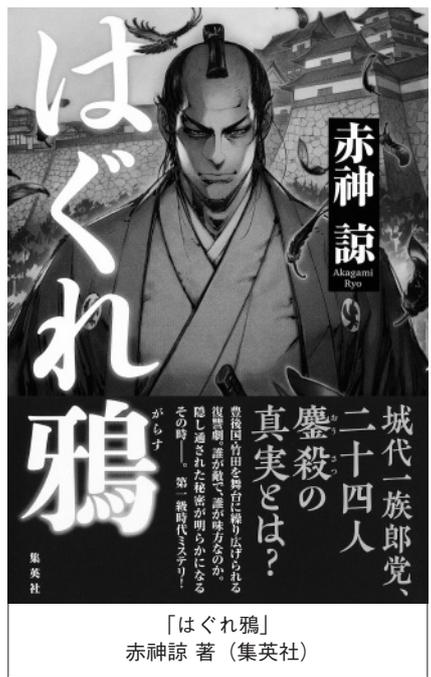


竹田高校の未来を輝かせる会

現在、竹田高校の抱える大きな課題は豊肥地区の少子化の進行、大分市への流出による、9年連続の入学定員割れです(令和4年度在籍数357名/定員数420名)。この現状は地域を挙げて取り組むべき課題であると竹田市に協力を求め、この度7月23日に土居昌弘市長を会長とする「竹田高校の未来を輝かせる会」が「地域と行政が手を携えながら将来にわたり竹田高校の教育活動を支援するため協議する場」として設立されました。

大分県下周辺地域にある多くの高校は、竹田高校同様に定員確保の問題を抱えており、コミュニティスクールを導入するなど地域との連携を強めています。その成果の一つとして高校生が無料で受講できる「公営塾」が玖珠町・国東市・豊後高田市で開講されました。本校としてもこのような具体的な事業を竹田市と共に行いたいところですが、そのためには継続的な財源の確保が必要です。そこでその方策例として、同窓生の皆さまへ「竹田高校の未来を輝かせる会」を受け皿とする竹田市への「ふるさと納税」をご提案させていただきます。

最後はお願いとなつてしまいました。同窓生各位のご支援が竹田高校の未来を輝かせることに繋がることを申し上げて、筆を擱かせていただきます。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



竹田を舞台にした時代小説「はぐれ鴉」のご紹介

過日、竹田高校同窓会副会長 堀幸子様からこの本の紹介をいただき、早速購入し読みました。まさに岡藩(現在の竹田市、豊後大野市の地域)を舞台にしたミステリー時代小説なのです。随所にあつた懐かしい地名が出てきますし、特産物のカボス、サフラン、椎茸、そして姫だるま、なども登場してきます。

竹田藩城代 山田嗣之介一家 惨殺に始まる復讐劇なのですが、その真相を解き明かしていく筋立てには引き込まれてしまいました。この小説の軸となるのがキリシタン文化との強い関わりであり、今も数多くのキリシタン文化財が残る竹田という地域の

歴史に思いを馳せられます。現在、地元ではこの小説を竹田のまちおこしに役立てたいとの期待が高く、この小説の映画化も計画されているようです。ふるさと竹田で一大ブームとなつている必読の書です。皆さんも是非一読を!

先日、9月11日(日)には、作者の赤神諒氏をお招きして出版記念イベント・サイン大会がグラントツタけで開催されたとのことです。

YouTubeの「とよたまさんぽ」にその様子が収録されていますのでご覧ください。

YouTube「とよたまさんぽ」
小説による町おこし
「はぐれ鴉」出版記念イベント

今回の「同窓生登場」コーナーは、役員改選を機に新任役員の中からご登場していただきました。

同窓生登場①
高校卒業後のこと
 (大学時代 社会人となってからのこと)



久住高原にて

監事 高橋公敏(昭44年卒)
 1969年3月に竹田高校を卒業し、同年4月に明治大学農学部に入學しました。キャンパスは川崎市にあり、ここでは、勉学のほか、気が合う仲間とでマラソン同好会を立ち上げ、皇居一周マラソンの上位を目指して練習に励み、本番では、その目標を達成することができました。同学部の後輩には、俳優の「向井理」さんと女優の「山本美月」さんがおり、今後の2人の活躍が楽しみです。

やっております。
 現在72歳になりましたが、趣味として40年前からJAZZ音楽を聴いています。そのために収集したLPレコードやCDは1,200枚になります。今はマッキントッシュのアンプとJBL4344のスピーカーを使って、楽しんでます。
 また、30年ほど前には、竹田の実家の父(2005年死没)から、カボスの苗木が20本ほど送られてきましたので、自宅に2本植え、残りは親戚の畑に植

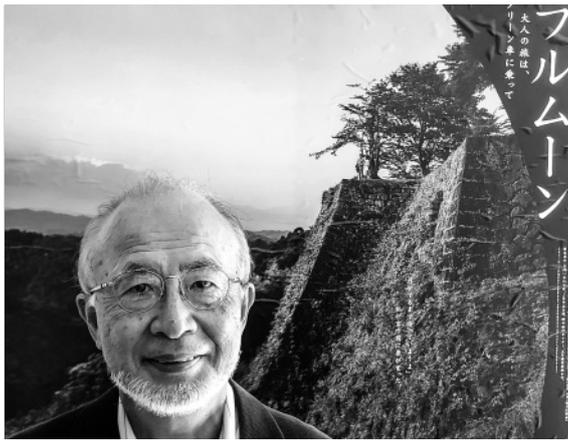
えてもらいました。今でも実は生り続けています。今年は何故か9個だけですが、多い年だと200個以上生り、このような年は10月から半年間、食しています。



竹田の逸話の一つ。1987

同窓生登場②
竹田に想う

副会長 辻 正太郎(昭49年卒)
 昭和30年、竹田市城原の城原八幡神社のすぐそばで生まれ、城原小、双城中學で育ち、3年



岡城のポスターの前で

間バスで通った竹田高校を昭和49年に卒業しました。
 その後、大学、会社生活の48年間をほぼ東京で過ごしています。会社では、東京丸の内を中心に、主にビル開発・運営を通じた街づくりに携わりました。仕事、仲間にも恵まれ、公私共に楽しい思い出が多い43年間の会社生活は昨年終え、今は好きなゴルフと旅行に精を出しています。
 最近まで親が竹田で健在でしたので、年に3~4回は竹田に帰省し、その度に城原八幡と岡城には

年発行の山田野理夫著の「荒城の月」に、滝廉太郎の生涯が描かれていますが、その中に、古老の話として、竹田の地名の由来が記されています。1587年に島津勢が岡城の志賀氏を攻めてきた時に、大洪水で片方が瀨たがけとなり、志賀勢が谷々に数千の高張提灯たかばりちんどんを掲げた所が「提灯谷」となったということです。

行くようにしていますが、城原八幡では幼少の頃を、岡城ではクラスメイトとよく登った高校時代の事を思い出しています。今、私の宝物の一つになっているのが、その岡城のB倍サイズのポスターです。
 平成18年に仙台へ転動した際、広告代理店の知り合いから、別代わりに入手し、パネル化したものですが、それ以来これを会社の部屋に飾り、来客にはいつもこのポスターを眺めながら、360度パノラマの久住、祖母、阿蘇連山の話から始まり、竹田の自慢話をするのが常でした。
 特に仙台では、仙台市が竹田市と、荒城の月、繋がり音楽姉妹都市でしたので、良い話のキッカケにもなりました。
 今は自宅の部屋に飾っていますので、いつも岡城、竹田に見守られている気がします。
 少子高齢化、人口減少が激しい竹田で、竹田高校も定員割れ等厳しい状況にあるようですが、他では真似の出来ぬ良さを持った街、高校であることは間違いありませんので、その強みを活かしていくために、少しでもお役に立てればと考えています。
 そのためにも先ずは、この関東同窓会を都会長の下、盛り上げていきたいと思っておりますので、皆さまどうぞよろしくお願いたします。

生窓③
同登場

サバイバル人生の原点
竹田高校



組織委員長 飯田良典(昭51年卒)
振り返ると、少々はみ出し気味でサバイバルな高校生活だった。入学早々友人数名との深夜の会合が発覚して、入学式のやり直しをしていただいた。大津省吾校長時代、担任は吉岡雄三先生だったが、一度も叱責された記憶は無く、おらかな指導に感謝している。

思い出の久住キャンプ(右から本田君、後藤君、私、志賀君)



初のサバイバル体験は、夏の久住山でキャンプを経験。明治幼稚園から同級で山岳部の本田祐一君、竹田中野球部で同級の後藤秀平君、高一で同クラスの志賀隆二君(久住中)の4名。山の中腹にテントを張り、飯盒でご飯を炊いてと本格的だったが、夜はテントがぶつ飛ぶかと思うほどの暴風雨。本田君のテント張り技術のお陰で無事だった。次はやはり夏、後藤君、志賀君との3名で南九州自転車旅を決行。母親には大反対されたが、宮崎、鹿児島、熊本を巡り無事帰還した。

本田君、井田卓二君(昭51年卒・竹田中)とバンドを組んだ。名は「やっしや」。方言やっしやきるぞ、から。他に5、6組が活動していて、発表の場は「ニュー竹田」。しかし同級生から入場料を取ったため、学校から注意を受け終了。吉田拓郎、泉谷しげるの時代だった。サバイバルは卒業してからも、二十歳の記念に、埼玉と野から竹田の実家まで自転車帰った。発起人は何人かいたが、気付いたらひとり。自転車

生窓④
同登場

強歩大会に教えられた
「得意と失意」



屋で中古を1万円で購入し、8月1日出発。わざわざ日本橋を通り、箱根を越え、大井川を渡り、関ヶ原を駆け、大阪布施で新聞奨学生の熊谷誠喜君(昭51年卒・萩中)の住むアパートまで4泊5日。途中は全て野宿。

その後、相生、倉敷を通り徳山港から国東行きフェリーで大分入り。別府、大分市を尻目に57号を竹田まで。母親には心配するので内緒にしていた。事情を知ると半分腰を抜かしていた。が、祖父は「根性がある」と言ってくれたらしい。自転車は従弟で52年卒の山口高広君(竹田中)に譲った。

企画委員長 後藤章仁(昭52年卒)
竹田高校を巣立つて早45年、過ぎ去ってみればあつという間の時間です。私が卒業した昭和52年当時の3年生のクラスは全部で7クラスあり、同級生の数が多いので全員と言葉を交わしたくてもかなわず、一人一人の顔と名前が一致するのは卒業アルバムを見た時です。

高校生活で今でも鮮明に覚えているのは、約40kmを走る全校一斉強歩大会です。フルマラソンに近い距離を走るのには生まれて初めてで、スタート前は果たして完走できるのかと不安でいっぱいでした。コース上には登りの勾配がきつい区間が所々にあり、そこを我慢して走りきると楽になり、しばらくして難所にさしかかると苦しくなり、また楽になるという波を繰り返しました。苦しさを我慢した後の楽になる時間は、なんともいえない爽快感、高揚感に包まれ、苦しい時には見えなかった久住の雄大な景色が急に目の前に広がったことを覚えています。全校一斉強歩大会は、完走している、苦しいこともあるが

一斉強歩大会です。フルマラソンに近い距離を走るのには生まれて初めてで、スタート前は果たして完走できるのかと不安でいっぱいでした。コース上には登りの勾配がきつい区間が所々にあり、そこを我慢して走りきると楽になり、しばらくして難所にさしかかると苦しくなり、また楽になるという波を繰り返しました。「得意の時に驕り高ぶることなく、失意の時にはゆったりと構えていなさい」という意味です。長い人生では強歩大会のように、「得意と失意」が交互にやって来ます。失意の時はこの言葉を思い出し、必ず良くなると思つてどつしりと構え、これからの人生の荒波を乗り越えていきたいと思います。



同窓生の情報をお寄せください

～新役員体制による会員掌握の充実に向けて～

本年7月の総会で役員体制も一新され、同窓生の掌握と組織化を担う組織委員会も、委員長に飯田良典氏(昭51年卒)が就任いたしました。

「この度、組織委員長を拝命しました。関東で活躍する同窓生の親睦と、母校の発展に寄与すべく、年代を超えて広く竹高卒業生を掘り起こしていきたい、また、特に若い同窓生も気楽に参加できる環境が作れたらと思います」(飯田委員長)

皆さんの周囲で同窓生の情報がありましたら、学年幹事あるいは飯田委員長あてにお寄せください。



7月同窓会総会の運営に当たった役員・学年幹事

連絡先 ▶ 組織委員長 **飯田良典**

TEL 090-1118-5778

E-mail yoshihanda55@gmail.com

学年幹事一覧

| 卒業年次 | 氏名 |
|-------|--------------|
| 昭和26卒 | 濱口 鈴子 |
| 昭和27卒 | 津田 美枝 |
| 昭和28卒 | 益永 三生 |
| 昭和30卒 | 用正 靖彦 |
| 昭和31卒 | 河野 智治 高橋 房枝 |
| 昭和32卒 | 高橋 勝和 藤原 保範 |
| 昭和34卒 | 服部 恭一 市村 真一 |
| 昭和35卒 | 平手 肇 |
| 昭和36卒 | 吉村征二郎 |
| 昭和37卒 | 桃溪謙次郎 |
| 昭和38卒 | 続 勝三郎 |
| 昭和39卒 | 安藤 紀 |
| 昭和40卒 | 田部 厚 大坂 好美 |
| 昭和41卒 | 中神 章彦 後藤 章一 |
| 昭和42卒 | 堀 正孝 |
| 昭和43卒 | 甲斐 文夫 工藤 和博 |
| 昭和44卒 | 伊東 忠明 高橋 博子 |
| 昭和45卒 | 川口 弘展 原田 健治 |
| 昭和46卒 | 日高 慶記 保坂 斎子 |
| 昭和47卒 | 柚須 潔 後藤 和典 |
| 昭和48卒 | 戸次 幸二 山村恵美子 |
| 昭和49卒 | 村上 泰子 田北 豊明 |
| 昭和50卒 | 安藤 京子 羽田野久仁子 |
| 昭和51卒 | 飯田 良典 鈴木 敬子 |
| 昭和52卒 | 内藤 賢一 後藤 章仁 |
| 昭和53卒 | 宮木 勢 渡辺 隆 |
| 昭和54卒 | 佐保 哲郎 |
| 昭和55卒 | 垣内富貴代 板井 浩司 |
| 昭和56卒 | 武内 宏文 岩野 香織 |
| 昭和57卒 | 佐藤 孝一 阿南 寛 |
| 昭和58卒 | 森 純洋 柳川美砂江 |
| 昭和59卒 | 衛藤 寛 大石 美紀 |
| 昭和60卒 | 川島 秀夫 米野 良恵 |
| 昭和62卒 | 竹下 賢仁 戸林 知輝 |
| 昭和63卒 | 肥田 雅子 |
| 平成3卒 | 波多野寛昭 |
| 平成7卒 | 古庄 実 |
| 平成10卒 | 志賀 昭靖 |
| 平成11卒 | 山口 慶明 井筒 剛司 |
| 平成13卒 | 工藤 一瀬 山口 明 |
| 平成15卒 | 工藤 佑允 |

(令和4年10月)

訃報

慎んでお知らせ申し上げます。
心から冥福をお祈りいたします。

物故者御芳名 ※順不同

| | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 西 文彦様 (昭27年卒) 2022年10月28日現在 | 木村 成利様 (昭20年後卒) 2022年4月27日没 |
| 瓦林 紀子様 (昭28年卒) 2021年12月3日没 | 深田 武士様 (昭36年卒) 2022年2月5日没 |
| 吉野 利長様 (昭36年卒) 2020年10月15日没 | 桃溪 宏様 (昭33年卒) 2022年1月14日没 |
| 川良ありさ様 (昭54年卒) 2022年2月没 | 島崎 清司様 (昭31年卒) 2022年1月1日没 |
| 秋田 芳郎様 (昭21年卒) 不明 | 長谷川 明様 (昭32年卒) 2021年10月1日没 |
| 梶原 良孝様 (昭44年卒) 2022年4月没 | 高橋 綏子様 (昭35年卒) 2021年10月11日没 |
| 本田 尚徳様 (昭30年卒) 2021年2月25日没 | 足達 玄純様 (昭29年卒) 2016年没 |
| 塩山 安志様 (昭24年卒) 2021年9月29日没 | 巖 寶曇様 (昭30年卒) 2016年9月1日没 |
| 平井さえ子様 (昭28年卒) 2021年7月19日没 | 桜井 忠輔様 (昭34年卒) 2021年9月没 |
| 村上 ふく様 (昭21年卒) 2019年6月21日没 | 明 ヒサ様 (昭28年卒) 2021年12月9日没 |
| | 小倉 礼子様 (昭42年卒) 2021年3月没 |
| | 添田 堯昭様 (昭30年卒) 2021年4月4日没 |
| | 田代 弥生様 (昭33年卒) 2021年3月20日没 |
| | 川邊 浩克様 (昭63年卒) 2022年10月16日没 |

※事務局へ連絡をいただいた方々を掲載させていただきました。

編集後記

波の困難な情勢

コロナ禍第七波の困難な情勢が続く中で、総会の開催を成功させることができました。多くの同窓会が中止を続ける中で、竹田高校関東同窓会の存在を感じることのできる催しでした。準備運営に当たった役員や当番幹事の皆さんのご尽力に心から感謝申し上げます。来年は総会だけでなく例年のように懇親会も同時開催ができることを期待したいところです。すでに企画委員会は来年の開催に向けて始動しており、担当する当番幹事さんたちも準備を始めております。関東同窓会の総力を結集しましょう。

▼恩師から便り募集!! 「恩師からの便り」に登場してほしい恩師の要望をお寄せください。担当者が現在の恩師の連絡先を調べて寄稿依頼いたします。

▼同窓生登場 自薦他薦による寄稿をお待ちしております。「高校時代の思い出」「部活の思い出」「同級生との交流の話題」など、テーマは自由です。左記の担当者連絡先まで、ぜひお寄せください。お待ちしております。

連絡先

〒181-0003
東京都三鷹市北野2-13-22
(広報委員長) 衛藤 淳 宛
TEL 090-9159-7231
FAX 0422-431776

mail to : etoj@hotmail.com